

1 施設概要

- (1) 場 所 文京区湯島 4-7-10
- (2) 開館日 通年開館 (年末年始を除く)
- (3) 開館時間 午前 9 時から午後 9 時まで (中学生の利用は午後 8 時まで)
- (4) 利用対象 主に区内在住・在学の中学生及び高校生
- (5) 設置施設

施設名	面積	主な仕様・利用想定
中高生談話スペース	145 m <sup>2</sup>	談話、読書、自習、工作、調理、PC 貸出等
ホール	142 m <sup>2</sup>	ダンス、演劇、合唱等
音楽スタジオ A	36 m <sup>2</sup>	楽器演奏 (グループ)
音楽スタジオ B	12 m <sup>2</sup>	楽器演奏 (個人)
プレイヤード	205 m <sup>2</sup>	屋外での軽運動

2 利用実績 (令和 2 年度 4 月~12 月分)

(1) 新規登録者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	累計
中学生	0	0	45	29	67	34	52	46	28	301
高校生	0	0	9	23	47	48	57	43	55	282
合計	0	0	54	52	114	82	109	89	83	583

※令和元年度新規登録者数：1,694 名 (中学生：816 名 高校生：878 名)

(2) 来館者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	累計
中学生	0	0	260	333	837	518	650	510	537	3,645
高校生	0	0	304	428	941	842	859	764	1,070	5,208
合計	0	0	564	761	1,778	1,360	1,509	1,274	1,607	8,853

※令和元年度来館者数：27,934 名 (中学生：12,111 名 高校生：15,823 名)

3 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対応

(1) 休館期間及び休館中の事業展開

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3 月 2 日 (月) から 5 月 31 日 (日) まで臨時休館。休館期間中は、文京区の中高生の「やってみようかな」を応援するため、オンライン特設サイト「b-lab オンライン」を新設。中高生の主体的な活動サポートを続けた。

ア みんなで！ダベリ場

毎日 12 時に中高生たちがスタッフやボランティアと共に他愛のない話ができる機会を提供。

イ オンラインイベント

利用者の「やってみようかな」の声を反映したイベントを行う。「オンライン自習室」「読書会」「占いの館」「おとのじかん (音楽イベント)」等。

ウ その他、相談支援

LINE 公式アカウント等を活用し、中高生からの相談にスタッフが対応。

## (2) 開館再開及び再開後の利用制限

緊急事態宣言の解除に伴い、6月1日(月)から下記のとおり利用制限を設けて開館を再開した。

### ア 開館時間

- ・6月1日～7月14日 午前9時から午後8時まで(完全入替制:1単位概ね2時間制)
- ・7月15日～1月7日 午前9時から午後9時まで(通常時間)

### イ 人数制限

利用者上限を35名程度とする。

### ウ 衛生管理

- ・検温・手洗い 来館時に行う。37.5度以上は利用を不可とする。
- ・マスク 原則持参し、着用は必須とする。
- ・飲食 館内での飲食は禁止する。(但し、水分補給の場合を除く。)

### エ 施設の利用制限

ホールや音楽スタジオ等、利用制限を設けて運営。

## (3) 緊急事態宣言再発令後の運営方法の変更

緊急事態宣言の再発令に伴い、令和3年1月8日(金)から、下記のとおり運営方法を変更した。なお、変更情報については、b-labのHP等にて周知した。

### ア 開館時間

変更後:午前9時から午後7時まで

### イ 利用方法

自主学習を目的とした利用のみとし、軽運動室及びプレイヤードの利用、ホールの占有利用を中止する。

### ウ イベントの実施

本施設におけるイベントの実施を中止又は延期し、オンラインイベントの実施に移行する。

## 4 中高生スタッフ

運営に主体的に関わる利用者が「中高生スタッフ」として、各種事業や運営に参画している。また、各学期に合わせて活動期間を設定している。

今年度の活動	人数
17期(4～8月)	25
18期(9～12月)	34
19期(1～3月)	35

## 5 令和2年度実施事業

### (1) 主な講座・イベント

館内での実施を予定していた定期講座・イベントについては、人数制限等の利用制限がある運営状況の下、昨年度同様の実施が難しいことから、オンラインを活用。館内実施・オンライン実施を使い分けながら、中高生へキッカケを提供し、活動を支援した。

#### ア 自習応援!マナビ場(定期講座)

中高生の自習の場を、館内及びオンラインで作成。皆が勉強に向き合う空間を提供する。

#### イ クリエイターズ.lab(定期講座)

CM作成や短編小説の執筆等、ものづくりをテーマとしたワークショップを行う。

ウ クイズ部主催 b-lab Q (中高生自主企画イベント)

中高生が、オンライン上でも楽しめるクイズを事前に作成し、スタッフと共にクイズを行う。

エ ごはん部オープンキッチン (中高生自主企画イベント)

Zoom で各キッチンを繋げながら、参加者全員で料理ができる機会を提供する。

(2) フェス事業

年 3 回 (夏・冬・春)、主にライブやダンス発表等を開催。中高生スタッフが各期の活動の集大成として、事業の企画・運営を行う。

ア 夏フェス

8 月 22 日 (土) 午前 10 時から午後 7 時まで開催。館内に設置した企画ブースから Zoom を活用し、YouTube での生配信を行った。また、バンドやダンス等の発表は事前にホールにて収録を行い、放映した。

イ 冬フェス

12 月 27 日 (日) 午後 1 時から午後 6 時まで、同月 28 日 (月) 午前 10 時から午後 6 時 30 分まで、2 日間にわたり開催。1 日目は文京シビック小ホールにて、感染症防止対策のもと、バンドやダンス等の発表を行った。2 日目は館内で、ホール・研修室・談話室等に会場を分散し、中高生企画イベントや b-lab アワードを実施。

ウ 春フェス

令和 3 年 3 月に実施予定。

(3) ゲームルールメイキング

ゲーム機器の貸出に向け、計 3 回、ゲームルールメイキングを実施した。ゲームを通して交流を広げることを目的とし、中高生がゲーム導入のメリット・デメリット、利用時間等について意見を出し合いながら、自主的に利用ルールを策定。令和 3 年 2 月 11 日から試用的に貸出・ルール運用を開始し、中高生の意見のもと、ルールの振り返りを行う。また、中高生同士、地域の方々との交流の活性化を目的としたゲームイベントを実施する予定である。

実施日	実施内容
10 月 25 日 (日)	第 1 回ルールメイキング
11 月 3 日 (火祝)	all b-lab 作戦会議での意見交換
11 月 22 日 (日)	第 2 回ルールメイキング

## 6 広報活動

(1) WEB 媒体での広報

ア WEB サイト (<http://b-lab.tokyo/>)

イ Twitter (@blab\_tokyo)

ウ LINE@

エ Instagram

オ YouTube

(2) 紙媒体での広報

ア 広報誌「Bunkyo teens magazine Cha!Cha!Cha!」

イ b-lab たより (生徒向け)

ウ b-lab 通信 (教員向け)

## 7 出張 b-lab

区立中学校を対象とした出張授業を実施。b-lab 運営業務事業者の NPO 法人カタリバによるキャリア学習プログラム「カタリ場」を行い、大学生スタッフと生徒の対話を軸に、進路意識の向上や将来への希望・意欲の創出を図っている。

今年度は、11月27日（金）5～6時間目に、文京区立文林中学校の2年生に向けて実施。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3つの教室に分散し、事前に収録した動画を活用する等、「三密」対策を行った。少人数での談話や個人ワークシートを通して、生徒が自分自身と向き合う時間を提供し、進路選択の一步を踏み出すきっかけを生み出した。

また、スライドや資料を用いた b-lab の施設・事業紹介を行い、中高生が気軽に大人と話せる場、「やってみたい」ができる場としての利用を促している。

## 8 今後について

### (1) 文京区青少年プラザ運営業務委託について

今年度改選時期を迎えた文京区青少年プラザ運営業務委託事業者が、公募型プロポーザル方式により選定された。引き続き中高生を対象とした文化・スポーツ事業、学習支援事業等の各種事業を実施し、中高生が主体的に事業の企画・運営に参画することを通して、自主性の促進を図っていく。

- ・令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（但し、履行状況及び履行成績を総合的に評価した上で、令和3年度を初年度とする3年度を上限とし、継続して契約できることとする）

- ・認定特定非営利活動法人カタリバ

### (2) 新規層の獲得

新規登録者数の伸び悩みから、新規層を獲得するため、広報誌やホームページ・SNS 等での施設情報や利用内容、イベント紹介の発信を促進する。また、b-lab を知ってもらうために効果的な出張 b-lab については、コロナ禍での実施内容をさらに精査し、引き続き区立中学校で実施すると共に、将来的な来館者である小学生へのアプローチとして、小学校での出張 b-lab の実施を新たに検討する。

### (3) 地域連携

施設を利用する中高生が、社会の中で新たな気付きや実感を得るために、地域連携事業を実施する。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施までは至らなかったが、引き続き青少年健全育成会をはじめとする関係団体と連携を深め、中高生が大人と共に運営する場や活動を発表する舞台を設ける。